
たとえばあたしの初恋模様

一河善知鳥

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

たとえばあたしの初恋模様

【Nコード】

N4192B

【作者名】

一河善知鳥

【あらすじ】

例えば、あたしの初恋はちょっと遅めで、なんだかあつという間だった。

夕日、風、机といす、カーテン、そしてあたし。あたしは今、教室
って場所に立っている。スカートから伸びるよわっちい脚をかくが
くさせて。

時計の音が心臓のどきどきと混ざって時間の経過がよくわからな
い。今日の放課後。五時ちょうどに教室。

「あのさ、今日の放課後、話したいことがあるんだ…」

そう、クラスで一番―少なくともあたしの中では―かっこいい子に
呼び出された…というわけではなく、あたしがもう気持ちを抑えら
れなくなって呼び出しちゃったのだ。もう気分はクラスで一番可愛
いのはあたしって感じていなきゃ平然を保ってすらいられない。だ
って、これがあたしの始めての告白。十五歳になったあたしの、遅
めの初恋だ。

「あ。おう！」

「…う、おう」

「大丈夫？なんか顔引きつってるけど」

「緊張してるんだ」

「え、何に？」

…それって、気づかないふり？

「孝くんと二人っきりだから、じゃん？」

「そんなこといったら、俺だって緊張しちゃうじゃん」

「ほんと？」

「うん」

「それって、なんで？」

「なんで？…って、やっぱり女子と二人きりって照れるじゃんか。誰かが通ったら勘違いしそうだし」

「いいよ、されても。てか、されたい！」

「え？ちよっと、待って。それってさ—…」

「好きです。すごく」

「…そっか」

やっぱり、彼はすごいこういうことに慣れている。だって、真っ赤なあたしの顔を見てもいたって冷静。

「まあ、届かない夢だね」

「ええ？…まあ、だけど俺…好きな人いるしなあ…」

否定、しないか。

「でも、すっきりしたから、もういいや。聞いてくれてありがとね」

「うん…」

うん、って返す言葉がなくなっちゃうじゃん。

「…」

「…」

「……」

『…ねえ?』

「あ。…いや、そっちから言ってよ」

「つと、俺…ちょっと帰らなきゃだわ。そろそろ」

ちょっと帰るって、いっぱい帰ってもいいのに。

「…そっか」

だけど、心のどっかであたしは「お前先に言えよ」「ええ?そんなのずるいよ」みたいな展開を期待していた。残念。…すごい遠慮した君の顔みたらもう、残念って言うしかないじゃんか。

「それじゃあ、また、…明日な」

「うん…、ばいばい」

彼が去ってしまった教室であたしはちょっと泣いた。夕日、風、机といす、カーテン、そしてあたしとシャボン玉みたいに大きな涙。

でも、なんだかすぐに立ち直れた。いつまでも泣いてたら日が暮れるから。日が暮れたら学校って怖いから。あたしは歩き出した。

そして、湿ってしまった教室をでたときにふと思った。

はーん。これが初恋ってやつか（フラれたけど）。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4192b/>

たとえばあたしの初恋模様

2010年11月15日16時30分発行